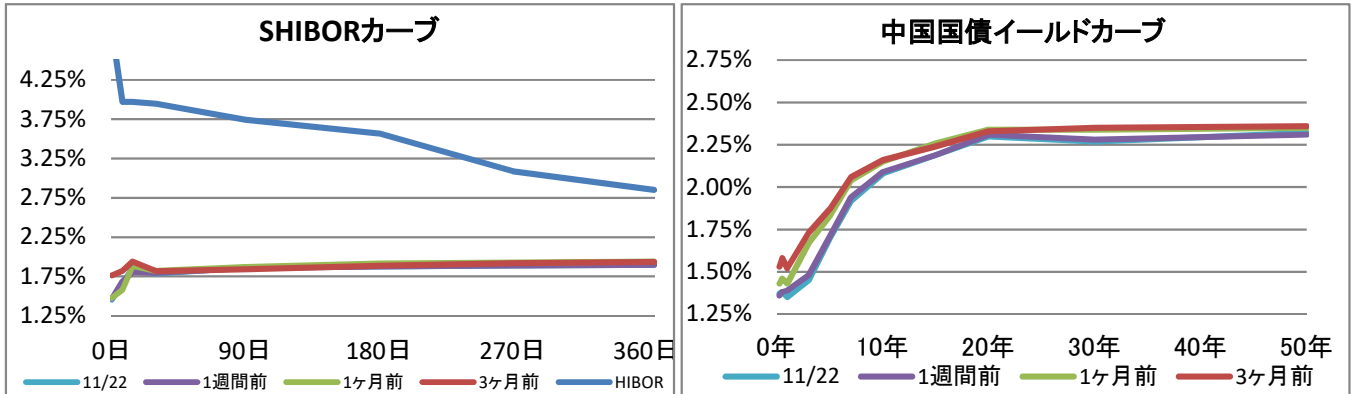


1.市場概況

基準レート		2024/11/22	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1942	-0.0050
	JPY/CNY	4.6919	+0.0579
SHIBOR	3M	1.8600%	+0.0040%
国債利回り	10年	2.08%	-0.01%
上海総合指数		3,267.19	-63.54



(1) 概況

国際金融市場では、米大統領選挙後の調整が一巡し、地政学的リスクや米国景気の堅調さと欧州景気の鈍化が鮮明となり、債券利回りの低下により株式市場も上昇に転じ、外為市場では週前半に調整が見られたもののドル高に戻す展開となった。

中国金融市場では、習主席が外遊中とあって、政府の貿易や金融における開放等の方針表明への金融市場の反応も限定的となり、債券利回りも小幅な低下を続けているものの、株式市場は地政学的リスクや米国の対中政策への懸念の高まり等から急落し、外為市場では中国人民銀行の元高設定が元安を抑制する状況となっている。

中国では、習主席がG20首脳会議で、グローバルサウスの一員で途上国が信頼できる協力パートナーとして、世界の発展支援のための8措置を宣言し、各国首脳との会談では、多国間主義・自由貿易体制の維持や保護主義への反対を訴え、李強総理は、國務院常務会議でプラットフォーム経済の健全な発展のための指導と政策支援を強化する方針を示し、丁薛祥副総理は、世界インターネット大会で、各国と共同でデジタル化・スマート化等を進め、世界の現代化に尽力する方針を示した。HKMA主催の国際金融投資家サミットで、何立峰副総理は、戦略的観点から香港を国際金融センターと位置付け、香港の金融改革や金融安定維持を全力支援する方針を示し、国家金融監督管理総局・李局長は、金融機関による香港での地域本部設立を支持し、証監会・呉主席は、クロスボーダー投融资の実務面での利便性向上や中国債券市場の対外開放拡大を主張。商務部は、対外貿易の安定的拡大促進措置として、貿易面への融資支援強化や貿易決済の改善、中国渡航ビザ免除対象国の拡大方針を示し、外交部は、日本を含む9か国向けの短期ビザ免除（在留期間も15日間から30日間に延長）を11月30日から実施すると公表。中国人民銀行は、金融機関に対してオフショア融資プラットフォーム債への投資制限を指示し、最優遇貸出金利の据え置きを決定。なお、10月の海外投資家による債券保有高（4.25兆元＜約90兆円＞）は2カ月連続で減少。

(2) 金融市場調整

中国人民銀行は、リバースオペ期日18,014億元に対して、リバースオペ18,682億元、中央国庫現金管理商業銀行定期1,200億元を実施し、1,868億元を供給。

(3) 主な経済指標

・特になし。

2.資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4560%	1.4500%	1.8500%	
1W	1.6530%	1.6530%	1.8000%	1.6700%
2W	1.8620%	1.9300%	1.9000%	1.6700%
1M	1.7890%	1.8000%	1.9500%	1.7000%
3M	1.8600%	2.0000%		1.8600%
6M	1.8780%	2.0500%		1.8800%
9M	1.8880%			1.8800%
12M	1.8980%			1.8800%

中国人民銀行は、概ね中立の調整を続けており、金利水準に大きな変化はなく、ターム物の金利水準は、年内期日も1.8%台後半で下げ渋り、年末越えの出合いは限定的となっている。

NCD市場も、金利水準が下げ渋る展開が続いており、ターム物の金利水準は、年内が1.7%前後、3カ月以降は1.8%台後半での取引が続いている。

(2) ミドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	4.60%	4.61%
1W	4.63%	4.65%
1M	4.70%	4.75%
3M	4.80%	4.85%
6M	4.75%	4.80%
12M	4.60%	4.70%

中国国内市場では、米国の堅調な経済指標が続いていることから利下げペース鈍化への懸念が一段と強くなり、年末への意識と先行き不透明感からターム物の出合いは1カ月の4.7%台での出合いが中心となり、年末越えとなる期間では様子見の状況が続いている。

3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.37%		1.78%	1.93%	2.11%
6M	1.38%		1.84%	1.95%	2.12%
1Y	1.35%	1.53%	1.89%	1.97%	2.16%
3Y	1.45%	1.70%	2.00%	2.13%	2.40%
5Y	1.70%	1.94%	2.20%	2.28%	2.69%
10Y	2.08%	2.28%	2.31%	2.43%	3.04%

米国債券市場は、経済の堅調さを示す経済指標が続いていることや次期政権の経済政策への期待から、債券利回りは高止まりの状況が続いているものの、地政学的リスクの高まりや世界景気減速への懸念もあって小幅な値動きに終始。中国債券市場でも、決算期末への意識の高まりと材料難の中、利回り低下余地は限定的ながら金融緩和への期待がある一方で、政府債増発による需給悪化が懸念され、方向感のない小幅な値動きに終始した。この結果、10年米国国債利回りは4.40%（前週末比-4bp）へと低下に転じ、10年中国国債利回りは2.08%（同-1bp）に小幅ながら一段と低下したことから、利回り差は232bp（同-3bp）へと縮小に転じている。

中国債券のイールドカーブは、短期を中心とする小幅な下方シフトが続いている。クレジットスプレッドは、金利低下余地の大きな信用債の利回り低下幅がやや大きくなっており、縮小傾向が続いている。

4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-169.4 / -168.5
3M	-530.0 / -529.0
6M	-1,086.0 / -1,080.0
9M	-1,667.0 / -1,650.0
12M	-2,264.0 / -2,255.0

対ドル基準レートは7.1942と前週末比-50pipsのドル安元高、対円基準レートは4.6919と+579pipsの円高元安と、対ドルでの元高水準での設定が続いている。中国国内市場では、国外市場でドル高傾向が続き、月末に向けた外貨ニーズもあって元安が進みやすい状況となっているものの、中国人民銀行の基準レートの元高設定が維持されており、7.25を目前に上値の重い展開ながら下値も堅く、狭いレンジ内での取引が続いている。

先物は、堅調な米経済指標や次期政権の経済政策への期待から金利の高止まりが意識される状況となり、中国への投資資金流入も限定的となっていることから、1年物では-2200台半ばまで下落している。

5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.84%		1.60%
6M	1.75%	1.80%	1.60%
9M	1.69%	1.73%	1.60%
1Y	1.64%	1.68%	1.50%
3Y	1.60%	1.64%	1.60%
5Y	1.69%	1.73%	
7Y	1.77%	1.81%	
10Y	1.86%	1.90%	

金利スワップ市場は、債券利回りが小幅ながら低下が続いていることから、スワップ金利水準もやや低下しているものの、スワップスプレッドには変化なし。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよく読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入